

# 学位論文審査の要旨

論文提出者	和田 淳
論文審査委員	(主 査) 朝日大学歯学部教授 渋谷 俊昭 (副 査) 朝日大学歯学部教授 柏俣 正典 (副 査) 朝日大学歯学部教授 近藤 信夫
論文題目	BMP-2 と PDGF-BB が歯根膜由来線維芽細胞の走化性におよぼす影響
論文審査の要旨	<p>従来の歯周外科治療は、原因因子の除去を主体とした方法であったが、近年では原因を除去したうえで成長因子等を用いた組織再生を促進させる方法へと変化してきている。成長因子単独での検討は行われているが、複数の成長因子を組み合わせることはほとんど検討されていない。そこで、本研究では BMP-2 と PDGF-BB が歯根膜由来線維芽細胞の細胞走化性におよぼす影響を定量的に評価した。</p> <p>BMP-2、PDGF-BB が歯根膜由来線維芽細胞の走化性におよぼす影響を EZ-TAXIScan™ により測定した。EZ-TAXIScan™ は従来の膜透過性試験とは異なり、安定した濃度勾配が得られ、走化する細胞をリアルタイムで観察でき、様々な角度から走化性反応を測定することができる。その結果、BMP-2 と PDGF-BB を組み合わせることで走化速度を亢進させ、BMP-2 単独、PDGF-BB 単独と比較して走化性細胞の有意な増加、無反応細胞の有意な減少がみられた。</p> <p>以上の結果より、BMP-2 と PDGF-BB を組み合わせることにより多くの細胞を誘導する。このことから、組織再生において有効な影響を与えることが示唆される。</p> <p>審査委員は本論文が複数の成長因子を組み合わせることにより、歯周組織再生においてより良い結果を提示した極めて価値のある所見を提供したものであり、博士(歯学)の学位を授与するに値するものであると判定した。</p>





